

# 見てみよう！歴史災害記録と旬のあいち

MAY 2017 vol.37

MAY						
S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

## ◆半田の歴史的建造物

所在地：半田市中村町（小栗家住宅）ほか

交通：JR 武豊線「半田」駅 東約 300m

半田は古くから醸造業と海運業で栄えた街で、街の中心を流れる半田運河周辺には、歴史を感じさせる黒壁の蔵や数多くの名家があり伝統的な建物が残されています。

小栗家住宅（地図①）は、醸造業などを営んでいた半田の豪商・小栗家によって明治時代初期に建築された店舗兼住宅で、主屋は棧瓦葺、寄棟造の木造 2 階建の東西に細長い建物で、道路に面した東側は店舗部分にあたり、奥には広大な居宅部分が控えています。平成 16 年 3 月には主屋始め 8 件が国の登録有形文化財に指定されています。



小栗家住宅

中埜半六邸（地図②）は、海運業や醸造業で財を成した半田の富豪・中埜半六家の 10 代目中埜半六が、明治 22（1889）年に半田運河沿いに建設した本宅で、2 階建ての母屋と離れ、蔵、庭などが残されており、半田の繁栄の歴史を伝える貴重な建物です。明治 22 年は第 1 回陸海軍大演習が行われた前年であり、内部には天皇の一行を迎えるためのしつらえも見られます。現在では、3,000 m<sup>2</sup>あまりの敷地を半田市が整備し、「半六庭園」として市民の憩いの場となっています。



國盛 酒の文化館

國盛 酒の文化館（地図③）は、お酒に

まつわる貴重な文化遺産の伝承を目的とした博物館で、厚い黒塗りの壁と白い漆喰窓をもつ建物は、200 年にわたって酒造りが行われた酒蔵をそのまま活用しています。

旧中埜家住宅（地図④）は、中埜半六家の別邸として明治 44（1911）年に建築された洋館で、国の重要文化財に指定されています。設計は旧名古屋銀行本店なども手掛けた建築家・鈴木禎次によるもので、木骨レンガ造、飾り窓やバルコニー、ハーフトィンバー様式の外観が明治・大正の雰囲気を感じさせます。



旧中埜家住宅（改修前）

中埜又左衛門邸（地図⑤）は、ミツカンの創業家・中埜又左衛門家の邸宅です。三代目・中野又左衛門は安政の地震・水害の後、半田運河を整備し、半田の発展に貢献した人物で、地震・水害の後に村人たちの仕事を作り出すために、本邸の屋敷を移設する工事を行いました。

さて、ここまで紹介した伝統的な建物は、いずれも昭和東南海地震を経験しながら大きな被害を免れ、改修を施されて現在まで残っています。半田の地勢を見ると、これらの伝統的な建物は、いずれも阿久比川と半田運河の西側で地盤が比較的良好な地域に位置しています。一方、阿久比川と半田運河の東側は流路の変更によりできた堆積平野と埋立地が広がっており、昭和東南海地震では、中島飛行機山方工場、同葎野工場をはじめ、多くの犠牲者を出しました。こうしたことから、あらためて土地の成り立ちを知ることの重要性をうかがうことができます。



◆ 災害にまつわる碑や史跡には、実際にその地域で起こったことが記録されているだけでなく、当時の人たちの思い（二度と被害を繰り返さないように、など）が込められています。碑や史跡の前では、災害が実際にこの地域で起こるということを実感していただくとともに、そうした先人たちの声に耳を傾け思いを巡らせ、身の回りの備えにつなげ、これからの防災に活かしてください。



## ◆ 半田の歴史的建造物の周辺には…

### ● 雁宿公園（追憶之碑ほか2基）

所在地：半田市雁宿町

交通：名鉄河和線「知多半田」駅北西約800m

雁宿公園には、昭和東南海地震で亡くなった動員学徒らを追悼する「半田・戦災犠牲者追悼平和記念碑（左）」「殉難学徒之碑（中）」「追憶之碑（右）」が建てられています。



### ● 半田市役所（東南海地震被災の地の碑）

所在地：半田市東洋町

交通：JR武豊線「半田」駅東約700m

現在の半田市役所の場所は、昭和東南海地震で多くの犠牲者を出した中島飛行機山方工場のあった場所です。この碑は、半田市役所の敷地西側に建てられています。

正面には「東南海地震被災の地」、側面には「中島飛行機山方工場跡」、「一九四四・一二・七 学徒従業員など犠牲者一五三人」と刻まれています。



◆ 詳細な地図は表面及び『歴史地震記録に学ぶ 防災・減災サイト』（<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>）をご覧ください。

## ★ 亀崎潮干祭

亀崎地区にある神前神社の祭礼・亀崎潮干祭は、干潮の浜へ5輦の山車が曳き下ろされる勇壮華麗な祭りで、半田の10地区で行われる春まつりの最後として、例年5月3,4日に行われます。

昭和34年の伊勢湾台風の後、防潮堤が築かれて以来、海への曳き下ろしが途絶えていた時期がありましたが、地元の方々の熱意により平成5年に神前神社の前に人工海浜が完成し、曳き下ろしが再開されました。



尾張の山車まつり HP より

豪華な刺繍幕や精緻な彫刻、からくり人形など、工芸文化の粋を集めて装飾された5輦の山車が、干潮の海浜に曳き下ろされる様子は壮観です。なお、平成28年12月には「山・鉦・屋台行事」として、ユネスコ無形文化遺産に登録されています。

### 5月のあいちの花

平成29年5月のあいちの花は、ハナショウブです。ハナショウブは江戸時代より数多く



みんなの園芸 HP より

の品種が育成され、当時から保存されている品種もあります。開花は5月の終わりから7月にかけてで、花形は3枚の弁が大きく目立つ三英咲き、6枚の弁が広がる六英咲き、八重咲きなどがあり、花色も豊富です。

アヤメやカキツバタに似ていますが、花卉のつけ根が黄色で、アヤメのような網目模様はなく、また、葉幅が狭く葉脈がはっきり隆起している点でカキツバタと区別できます。

### ●ブレイクタイム●

#### ♪ 歴史地震探索まちあるきガイド（半田市役所～住吉町・半田口編）

半田の歴史的建造物や地震にまつわる碑や史跡を紹介したまちあるきガイドです。

表面で紹介した歴史的建造物のほか、裏面上部で紹介した雁宿公園、半田市役所に加え、北谷墓地（殉職者諸精霊之碑）、光照院（おほなみ観音・非公開）など、昭和東南海地震の犠牲者を慰霊する碑や史跡を巡るまちあるきルートが設定されています。

冊子は名古屋大学減災館で入手できます。また、名古屋大学減災連携研究センターの歴史地震研究プロジェクト HP（<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/rekishijishin/>）よりダウンロードできます。



◆ この地域の災害に関する碑・史跡、資料・体験談集、地域に残る古文書、研究資料、郷土史研究者・団体などの情報がありましたら、[gensaisan2014@gmail.com](mailto:gensaisan2014@gmail.com) まで情報をお寄せください。

◆ 県内の歴史地震記録をホームページで紹介しています。各地の碑や史跡等にご興味をお持ちいただけましたら、『歴史地震記録に学ぶ 防災・減災サイト』（<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>）をぜひご覧ください。

（発行：減災の会・名古屋大学減災連携研究センター 平成29年5月）